

蒼葉

裾野市立深良中学校だより

平成 23 年 5 月 2 日(月)

第 5 号

発行人 校長 鈴木史良

新しい学びの創造

—— 深良中の子どもたちに世界に誇れる学びを ——

学校便り第4号で「4月25日を祝う」をお知らせしました。4月25日とは、寛文10年（1670年）2月に完成した用水路に初めて芦ノ湖の水が流れた記念すべき日でしたね。この用水によってどれだけ多くの人々が救われたことでしょうか。300年以上たった現在でも、この用水は私たちの農業を支えています。

これは世界的に見てもたいへんな偉業だと言えます。17世紀に1280mのトンネルを誤差わずか1mで掘り抜いたという当時の卓抜した技術はもちろんのこと、さまざまな困難を乗り越え、最後までやり遂げた人物について、その生き方を学ぶことは、深良の子どもたちにたいへん価値のある学びを提供し、また郷土への誇りと自信を与えてくれるのではないかと考えます。

そのために“新しい学びの創造”として、1年生の皆さんに「深良用水」を題材とした演劇を提案いたします。大庭源之丞役や友野与右衛門役になって、あるいは村人役やトンネル掘りの人夫役になって、当時の人々がどのような思いで行動しようとしたのかを演劇という表現形式を通して自分の目で、耳で、身体いっぱい体験してほしいと思います。今年、1年生が演じる劇を来年は次の1年生が演じ、再来年は更に次の1年生が演じ、というように毎年深良中に入学した1年生が演じる演劇として定着させ、演劇でつながり合いながら深良中の学びを創造していきます。

演劇「いのちの用水」の概要

第1部 …… 生徒によるプレゼンテーション（時代背景、用水の基礎知識、技術等）

第2部 …… 生徒による演劇（3幕8場とエピローグ）

<第1幕第1場>

日照りが続き、作物がよく実らなかった畑で作業する村人たち。そこに名主、大庭源之丞が様子を見回りにきて村人の窮状を聞き、心に一大決心をします。

<第1幕第2場>

一大決心を胸に大庭源之丞は江戸の浅草に友野与右衛門を訪ねます。源之丞の切々たる思いを聞いて、与右衛門はトンネル工事を請け合うことを決心しました。

<第1幕第3場>

大庭源之丞と友野与右衛門は芦ノ湖畔にある箱根権現の大僧正快長のもとを訪ね、工事の必要性を説き、協力を求めると、快長は協力を申し出ました。

<第2幕第1場>

作業人夫たちが岩をノミで砕きながら掘り進めていくと、大岩が現れました。そ

ここで与右衛門は岩をもろくする技術を用いて困難な局面を乗り越えていきます。

<第2幕第2場>

注文した特製の石割ノミが工事現場に届き、皆で喜び合っていたところに役人がきます。そして友野与右衛門を武器輸送の疑いで召し捕り、連れ去ってしまいます。

<第3幕第1場>

快長のおかげで出牢できた与右衛門ですが、待ち受けていたのは工事資金を貸してくれた松村浄真でした。浄真の口から出た言葉は、幕府ににらまれ、工事にはこれ以上資金援助はできないとのことでした。

<第3幕第2場>

松村浄真からの資金がなくなった夫を見ていられず、妻のリツは江戸に戻り、自分たちの財産を全部売り払って資金を作り、再び深良村に戻ってきます。人々はそんな友野与右衛門と妻リツの姿に心打たれ、これまで以上に工事に励みます。

<第3幕第3場>

月日が流れ、壁の向こうからノミを打つ音が聞こえ始めました。そしてついにトンネルが貫通し、人々は喜び合いました。

<エピローグ>

またもや囚われの身となった友野与右衛門。村人たちが喜び合う中、大庭源之丞は狼煙を上げて友野与右衛門に伝えます。水がうまく通ったと……。

5月の主要予定

- 5月 6日(金) PTA理事会 19:00 校納金振替日
- 7日(土) PTA親子環境美化作業 8:30(予備8日)
- 9日(月) 3年4時間授業 1, 2年5時間授業(弁当)
- 10日(火) 3年修学旅行1日目 1, 2年4時間授業
- 11日(水) 3年修学旅行2日目 1, 2年校外教室1日目
- 12日(木) 3年修学旅行3日目 1, 2年校外教室2日目
- 13日(金) 2年校外教室3日目 1, 3年学年時間割
- 14日(土) 市P連常任理事会 17:00
- 18日(水) 全校集会 委員会タイム
- 20日(金) 読み聞かせ
- 21日(土) 市P連理事会
- 25日(水) 学年集会 委員会タイム
- 26日(木) 体育の部総練習
- 28日(土) 蒼葉祭体育の部
- 30日(月) 振替休日
- 31日(火) 教育相談 家庭教育学級開講 15:00



ALT紹介(ガーナ出身)
アルバート・フェンテンさん